

第3回 宇部市渡辺翁記念会館保存活用検討委員会 議事録

日 時：令和8年(2026年)7月24日(金) 9:30～11:30

場 所：市役所5階 第2委員会室

出席者

【委員】

清水 里司 原田 正彦 脇 和也 渡邊 祐二 礒田 智沙恵
白石 光芳 篠澤 朝孝 内田 康博 福田 空 長谷川 耕二

【宇部市】

観光スポーツ文化部 部 長 青山 佳代 理 事 白井 幸雄 次 長 明德 義和
文化振興課 課 長 徳田 泉 副課長 越智 英和
文化振興係 係 長 中谷 尚子 係 員 伊藤 瑞奈

【宇部市教育委員会】

学びの森くすのき・地域文化交流課 副課長 石川 健

《第3回会議》

1 宇部市渡辺翁記念会館の活用方法（答申案）について

答申案、答申案別紙「具体的な活用方法（案）」について意見交換

（会長）●委員のご意見を、来年度以降は具体的なニーズやマーケットも鑑みたうえで、優先順位を決めて予算に応じて実現性を検討していくことになる。

答申修正案

（委員）●文頭に「宇部の精神（こころ）、共存同栄など渡辺翁の理念を継承すること」を追加してはどうか。

（委員）●「共存同栄」と「有限の鉱業から無限の工業へ」を追加してはどうか。

●文化会館も今後登録文化財になる可能性を考え、複合的な文化財として考えてはどうか。

●三友サルビアホール（防府市公会堂）の改修工事を参考に、開かれた一流のコンサートホールを目指してはどうか。

（委員）●本会館での著名な音楽家の演奏実績を盛り込み、市の文化芸術の中心的位置づけであることに触れてはどうか

（委員）●重要文化財としての制約がある中での成果目標を設定してはどうか。

(委員) ●数年ごとに行う大規模改修費用が懸念事項。

(会長) ●トップライトや照明など、改修で建築当初から変わってしまっている箇所を元に戻してはどうか。

答申案別紙「具体的な活用方法（案）」

	活用方法	委員	意見・感想
1 市民の多様な 文化芸術活動と 日常的な利用の サポート機能	①ステージ・客席 使いやすさの見直し ②リハーサル室・楽屋 使いやすさの見直し ③1階・2階ロビー 各種展示会やミニコンサート、 演劇、身体表現、マルシェ、 文化教室等の開催 ④1階・2階ロビー カフェ設置 ⑤1階・2階ロビー フリースペース等市民への 開放利用	(委員) (オブザーバー) (会長) (委員)	○渡辺翁記念会館で一流芸術に 触れることによる次世代育成が必要。 ①今のような大枠での記載は問題ない 配席の見直しは議論の余地がある。 ステージの拡大は建物の制限が多く、 現実的ではない。 今後具体的な計画作成時に検討。 ①具体的な内容は、文化団体などに ヒアリングして検討するだろう。 ③⑤実現しやすい。 宇部市はダンス団体数が多い。 他市に流れないように照明機材の 更新を希望。
2 シビック プライドの 醸成と 記念会館の 歴史の顕彰	①渡辺翁・俵田明・記念会館・ 村野藤吾等、宇部の文化へ貢献 した人物や記念会館の歴史に 係る資料整備（アーカイブ化） ②広く知ってもらうための 展示機能の整備 ③専門家による 建築ガイドツアーの実施	(委員)	村野建築が改めて注目されている。 宇部市が村野建築のメッカとして、 全国的なネットワークを組み、 記念会館内には建物の歴史がわかる 空間を整備するべき。
3 すべての人が 快適に芸術文化 の創造と発表、 鑑賞ができる ような整備 (社会包摂)	①女性用トイレの拡充 ②子どもミュージカル等の 参加型芸術プログラム ③障害者芸術支援センターとの 連携、インクルーシブシアター化 ④バリアフリーによる誰もが 享受できる創造と発表、 鑑賞環境の整備	(委員) (委員)	②数年前に立ち消えになったため、 実現を希望。 ○市民が利用しやすい利用料金に。 答申案に利用料の考え方を 追加してはどうか。
4 周辺施設・観光 資源の連携・活用	①周辺観光資源や UBE 現代日本 彫刻展等と連携し、マーケットや トークイベント、映像を活用した	(オブザーバー)	○重要文化財を傷める利用方法は、 賛成できない。 利用上の不明点は指定管理（市）に

	イベントの開催 ②学会の拠点となるような整備 ③大学等と連携した芸術・文化の教育の場としての整備 ④舞台裏見学やワークショップを含む「オープンデイズ」の開催	(会長) (委員)	相談してください。 建物を大切に利用する考えを、市民に理解してもらうことが重要。 ○できることとできないことを文章化し、市民の利便性向上をはかる。 ○できることとできないことを文章化すると、制約が増える可能性があり文章化には反対。
5 前庭・駐車場・公園を含めた一体的な整備や活用	①前庭のステージ的利用 ②夜間のライトアップ・イベントの開催 ③景観ビューポイント・フォトスポットの設置 ④イベント開催のための記念会館街区全体の整備	(委員) (委員)	④渡辺翁記念会館と公園との一体化が必要。それぞれ担当部署が異なり、利用しにくいとため、一元化を希望。 ④記念会館と公園は同時に寄贈され一体。全面的に美しくするため、新川ふれあいセンターを立体駐車場にし、公園内の駐車場は撤去してはどうか。
6 重要文化財としてのバリューアップ	①竣工当時のデザインの再現（潰されているトップライトなどの復活）	(オブザーバー) (委員) (委員)	○渡辺翁記念会館は3回改修している。「竣工当時の再現」は、改修での増築部分を否定する読み方ができるため、文言の変更が必要。 ①はオリジナル性の尊重。 ○現在の技術で、構造的に難しい逆スラブの再現を希望する。

感想

(委員) ●コンサート機能を廃止して、新しくホールを建築することは慎重に検討してほしい。

市民は、渡辺翁記念会館という一流の場所で、一流の音楽にふれることを期待している。また、財政面の心配もある。